

貸金（主たる債務者＋保証人：記載例）

（注）□欄は、該当事項にレ点を付すか、又は、■に反転させる。

請求の趣旨

- 1 □被告は、被告らは、連帯して、原告に対し、次の金員を支払え。
- (1) 金 300,000円（元本）
- (2) □確定利息金 円 □確定遅延損害金 円
□上記金額に対する平成 年 月 日から平成 年 月 日まで
年 パーセントの割合による金員
- (3) 上記(1)の金額に対する
平成25年9月26日から
訴状送達の日翌日から
支払済みまで年10パーセントの割合による金員
- 2 訴訟費用は、□被告 被告ら の負担とする。
- 3 この判決は、仮に執行することができる。

紛争の要点（請求の原因）

- 1 原告は、□被告 被告 乙山二郎 に対し、次のとおり金員を貸し渡した。
- (1) 貸付日と金額
平成25年 7月 1日 金500,000円
平成 年 月 日から平成 年 月 日まで
合計金 円（□別紙記載のとおり）
- (2) 返済期の定め あり
平成 年 月 日
平成25年 7月 25日から平成25年 11月 25日
まで毎月25日限り金 100,000円の分割払い
別紙のとおり
なし
- (3) 特 約 利息 (年 パーセント)
遅延損害金 (年 10パーセント)
期限の利益喪失の定めあり
(内容 借主が貸主に対する支払を1回でも怠ったときは、期限の利益を失う。)
- 2 被告 丙田三郎 は上記契約を連帯保証した。（書面あり）
- 3 返済状況 返済あり
平成 年 月 日 金 円
平成25年 7月 25日から平成25年 8月 25日
まで合計金200,000円（□別紙記載のとおり）
全く返済なし
- 4 期限の利益喪失日 平成25年 9月 25日
- 5 その他参考事項

添付書類

- 法人登記事項証明書（資格証明書） 契約書 □借用書 □念書 □メモ
□